

井加田 まり

県政活動レポート

2021年3月15日

No.24 臨時特別号

発行責任者/井加田 まり

富山県議会立憲民主党・県民の会

2~3月 県議会定例会始まる

県議会は、新田県政初めての予算議会（2/26~3/24）が開催中です。26日の知事提案理由説明において、新型コロナ対策及び八つの柱からなる重点政策、副知事の複数体制はじめ大幅な組織体制見直しなどが示され、補正予算と令和3年度予算案を一体的に活用する「14か月予算」は前年度比13%増・過去最大の規模となっています。

新型コロナウイルス感染者が減少傾向に

昨年のクリスマスから年末にかけての影響が、年末から年始の新型コロナウイルス感染者数の増として出てきました。大都市圏等に発令された「緊急事態宣言」は、解除の日安の数字ではクリアしながら、「基準も再延長の根拠も不明確のまま」、菅首相判断で3月7日以降再延長されることとなりました。ワクチン接種の見通しについても国からの情報が錯綜しています。

県内では、飲食店等に対する営業時間短縮要請（1/18~31）以降、感染者数は減少傾向となりました。しかし、全国的には、まだまだ予断を許さない状況が続いています。感染防止対策を継続しながら日常の生活や仕事・社会活動を進めていかなければなりません。

生活一変させた「新型コロナウイルス感染症」

昨年1月に発生し、3月には世界中に広がり、パンデミックとなった「新型コロナウイルス感染症」は、経済や社会に打撃を与え、人々の生活を大きく変えました。この一年、家でじっとして友人とも会わない、旅行はもちろん外国にも行けない。自分が感染しないため、人に感染させないために、自由を制限され、生活の楽しみを奪われながらも我慢する生活が続きました。

コロナ禍の終息を願いながら、コロナ後も新たな感染症への対応が必要とされています。県民の命と暮らしを守る観点から、これまでの富山県のコロナ対策を総括しながら、今後の備えについて議論を深めていかなければなりません。

新しい会派「立憲民主党・県民の会」 として予算議会に臨む

県議会開会前日の2月25日、社会民主党議員会（3名所属）は、立憲民主党富山県連が発足したことを受けて、会派名を「立憲民主党・県民の会」に変更いたしました。

新しい会派「立憲民主党・県民の会」として3月4日、会派を代表し菅沢議員会長が質問に立ちました。今回の立憲民主党への合流は、国と地方の政治の転換と、国民のための政策の実現を目指しての決断であり、県民の皆様の深いご理解とご支援をお願い申し上げます。

今定例会において井加田は、3月18日、予算特別委員会で質問いたします。

引き続き、県政をチェックする立場で議会活動に取り組んでまいります。



2月26日 新会派「立憲民主党・県民の会」の届出を報告
(記者会見に臨む：井加田・岡崎 両氏)

富山県の男女共同参画状況をチェック

【富山県議会】会議規則一部改正について

富山県議会では、仕事と介護・育児との両立支援推進の観点から、昨年3月「会議規則第2条：欠席の届け出」の議員の会議等の欠席事由に「育児・介護」が追加されました。女性活躍促進をさらに進める観点からも、今議会においては、「会議規則第2条に第2項を追加」し、「出産休業期間」（産前6週

産後8週等）を明記する一部改正案が提案されました。これまで規則になかったということは、女性議員の中でも出産年齢の女性議員の存在すら想定されていなかったということでもあります。年齢や性別に関係なく多様な人材が議員として活躍できることを期待したいと思います。

女性差別撤廃条約「選択議定書」批准！

国連で採択された女性差別撤廃条約（1979年）は、あらゆる分野において、女性であるという理由で区別や制限がなされないことを目指しています。日本は1985年に批准しました。1999年、条約の実効性を強化しようと、改めて「女性差別撤廃条約選択議定書」が採択され、現在114か国が批准しています。「選択議定書」は、個人または集団が女性差別撤廃条約の違反に対して国連に通報し調査をしてもらう制度で、条約の実効性を高めるためにも日本政府が批准することが必要です。

昨年12月14日、富山県議会において、「女性差別撤廃条約選択議定書」の早期批准を求める意見書を国に提出する請願と意見書が、議会と「批准を求め

る実行委員会とやま」との連携により、全会一致で採択されました。

富山から、女性差別撤廃に向けて、多くの理解者ととともに一歩前進です。



昨年12月14日 意見書採択後「実行委員会」の皆さんと

もっと進めたい、とやまのジェンダー平等

知事が重点政策に掲げる「女性活躍の推進・子育て環境の充実」
(2/26知事提案理由説明より)

①女性が活躍する環境づくり

- ・2030年までに女性管理職割合を全国トップ20以内に引き上げ
- ・男性の家事・育児への参加促進キャンペーンの実施
- ・県内企業における女性の採用や活躍を徹底して後押し

②働き方改革、仕事と子育ての両立

- ・県庁内に「働き方改革ラボ」設置
- ・副業・兼業人材の活用を支援

③安心して子育てできる環境の整備

- ・富山子ども病院構想を含む小児医療提供体制の検討
- ・不妊治療の拡充
- ・スクールロイヤー活用、スクールソーシャルワーカーによる支援

井加田の主張

コロナ禍で女性の自殺者が特に増えたことが報告されています。女性活躍を支えるためには、当事者を孤立化させない仕組み、家庭や職場で男女が共に考え実践する子育て環境づくりを目指すことが重要です。

井加田まり 事務所

※4月より事務所を移転しましたのでお知らせします。

—— 新しい連絡先 ——

住所 〒933-0838
高岡市北島1142

電話 0766-21-6311

FAX 0766-21-6312

※電話・FAXは変更ありません

県政に対するご意見を
お聞かせください！

